

見沼中学校区における学校再編成に関する説明会 会議録（北河原・保護者）

- 1 開催日時 令和2年11月15日（日）午前8時30分～9時25分
- 2 開催場所 北河原小学校体育館
- 3 出席者 14名
- 4 教育委員会 鈴木教育長
 学校教育部 吉田部長、荻原参事、諸貫次長
 学校教育課 須永主幹
 教育総務課 上野主幹、久積主査、柏瀬、田沼

5 会議内容

発言者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
司会	1 開会
鈴木教育長	2 あいさつ
鈴木教育長	3 意識調査の結果及び今後の方向性について
出席者	4 質疑 北河原は見沼中と南河原中の選択ができていたと思うが、その方向はどのようになるのか。その選択ができるのであれば、北河原の中でも酒巻などは考えが変わってきてしまい、また分かれる形になってしまう。そうなると見沼中はただでさえ市内でも小さい学校なので、見沼中での問題も出てきてしまうと思う。あとは、複式学級の解消は令和4年4月に必ずお願いしたい。見沼中は部活があつてないような状態になっているので、子供のためを思えば、見沼中と南河原の統合案も早々に動いて、中学校同士の統合を考えていかないといけないと思う。
鈴木教育長	複式学級は令和4年4月に絶対に解消する。スピード感をもって進めていく。中学校の問題は、学校区の問題など色々あるので、並行して通学区域等審議会にかけて、今後の在り方について審議をしていく。
出席者	令和4年4月の複式学級の解消について、今の時点で案はあるのか。
鈴木教育長	保護者の意見も地区ごとに分かれている。北河原地区ではどのような事を望んでいるのか、どのような方向が子供にとって良いと考えているのか、それぞれで丁寧に聞いていきたい。このような形だったら子供達にとってより良いのではないかと、今後の北河原地区の子供にとってこの方向が良いのではないかなど色々な観点で地区ごとに話を聞いていき

出席者	<p>たい。北河原の皆さんは様々な思いでいると思うので、まずは聞きながら丁寧に進めていきたい。</p> <p>荒木と須加と北河原だけでなく、個人的には南河原を含めた方向をお願いしたい。というのは、今まで学童は南河原へ行っていた。南河原と北河原の接点があるので、全く知らない荒木へ行くよりは南河原を含めて検討してほしい。</p>
鈴木教育長	<p>個人な意見でも構わないので、色々聞いていきたい。</p>
出席者	<p>個人的には、これから統合するに当たって3校の話があがっているが、現在並行して進んでいる中央小・星宮小に参入する方法もある。また、近くで言うと北小も選択肢に入るのかなと思う。小さな学校を救わなければならない事もあるので、予定通り3校で進めていくのも一つの考えだと思う。また、子供の目線で考えると、交流学习をやっていて、3校は繋がりががあるので、他の学校に行くよりはストレスなく進めていけると思う。</p>
鈴木教育長	<p>これまで子供達の交流をしてきたので、子供達の気持ちもある。新たな視点での他地域の選択も重要な検討事項になってくると思う。</p>
出席者	<p>北河原に引っ越してきたが、いまだに複式学級がある事にびっくりした。自分の子も複式学級に通うと思っていた。南河原小との合併の話も仲が悪いので駄目になってしまったと噂で聞いた。その後、荒木、須加と合併になると聞いて、やっと複式学級がなくなるとほっとした気持ちがあった。是非、複式学級だけは解消してほしい。</p>
鈴木教育長	<p>新たな再編成計画を立てる時の一番はその部分だった。南河原小と北河原小の統合に関わった先輩にも話を聞いたが、なんとしても複式学級を解消したいという強い思いを聞いていた。特色があって、子供達も誇れるような学校として、義務教育学校を進めてきた。白紙になったとはいえ、複式学級の解消は一番の課題だと思っているので、なんとしても進めたいと思っている。</p>
出席者	<p>残念な気持ちもあるが、不安がある上でスタートする事もあって、複雑な気持ちがある。複式学級は一概に良くない訳でない。上の子が下の子の面倒を見るし、大きな学校では先生とじゃんけんをしたりしないが、北河原小だと先生とよく話をして、まるで親子の様な関係になる。</p>

保護者もつい先生に家族の様な会話をしてしまう。暖かい感じで見られる。ただ、なれ合い過ぎて甘えてしまって、一線が見えなくなってしまふ事も多々あると思う。家庭教師に習っている様な部分もある。大きな所だと一定の人数がわかれば先に進んでしまふが、少人数ならその子ができるまで先生が見てくれてフォローしてくれるので一概に複式学級が悪い訳ではない。学年に1人2人になった時には、大勢の中で暮らしていけなくなってしまうのではという親としての気持ちがある。複式学級の不利な点は、先生が自分の専門外の事も子供に教えないといけないこと。9年制の大きな学校になると、例えば算数や国語に特化して勉強をしてきた先生がそのクラスの担任になって勉強を教えてくれる。今は英語の発音も全然違うものを教えてくれる。世界に通じる子供を作りたいというのも教育の考えだと思う。日本の経済が50年後にグローバルな世界に通じる英語力を持った人材を作りたいというのが日本の教育のシステムだった。そこに追いついていくにはどうしたら良いかを学校教育現場の人たちは考えていると思う。おじいちゃんおばあちゃんなどは日本特化という閉鎖的な部分もあり、色々な面でぐちゃぐちゃな所がある。それを考えた上で今後どうしたら良いかも考えていると思う。本題に入るが、反対派の人は10年後の事とか施設の改修にお金が勿体ない事をよく言うが、確かにそうだと思う。再編成がなくなったなら、そのお金を貯めておいて、文句の言われない施設を作って、全員が一気に行けるような形をとってもらっても良いと思う。10年後といたら今の子供が成人してしまう。もしかしたら、今の子が子供を産んだ時にこの学校に行けて良かったという学校を作ってほしい。私たちはへそを曲げている。何を言われても信じられないと思ってしまう。子供を小学校に預けているので、悪く言えば人質のようなものなので、親として強く言えないが、現状キープしてでも、いじめられないで、安定して勉強させてもらえる環境を作ってほしい。例えば北小に行った場合も駐車場関係で送り迎えが心配。北小の学区は長野中なので、そのまま長野中にあげてもらえるのか。自分達の環境さえ良ければ良いという保守的な考えがあると思うので、改革をする時には痛みを伴うと思う。皆さんの意見を聞いてというより、このような形を取っていきますが賛成しますかという勢いで指揮をとってもらって、引っ張ってもらいたい。税金を10%にする時に猛反対しても実行したが、それと同じくらいの勢いでやらなければ、これだけの人数の民間人をまとめることはできないと思う。一つ一つ聞いていられないというのが本音だと思う。どのように理想論に近づけるのか、どのような形に10年後なるのかがこちらに伝わってこない。段階的にやりますという反対されてしまふ。だったら10年後を7年後に引き下げても良いから、子供につきこめないか。10

	<p>年後に再編成が予定されるというのはどういう事なのかなど今後の事が見えない。東西南北の4カ所にすると聞いたが小学校も4校になるのか。4校になるのであれば、小学校を選べてバスを出してくれるなら荒木に行かなくても良い。中央小に行っても良い。中央小なら学区に市役所などの駐車場もあるから、安全に送迎できる。令和4年は、不安な部分をクリアした上で進めてほしい。</p>
鈴木教育長	<p>今後の展望を持った選択肢を示せるように、各地区を回りながら、話を聞いた上で検討していきたい。</p>
出席者	<p>個人的な意見だが、中学校の校舎を使ってという部分で、プールの説明を受けた時に安全面を考えて下に台を設置してという話が出ていたが、学校の先生の負担になってくると思う。やはり小学生は小学校にある器具を使って統合してもらう方向で考えてもらえたら、ここまでの反対はなかったのかなと思う。中学生は受験があって、高校へ行くためのステップとして重要な所だと思うので、小学生と一緒に在校生は不安になると思う。そう考えると、今ある施設を使って小学校を一つにまとめるなら、維持しなくなる2校にかかっていたお金を使ってスクールバスを出すとか、やり方は色々あったと思う。そうすれば説明会とかで揉める事もなく、すんなりいけたのではないかと思う。複式学級を解消するために意見を出し合っても、「統合がなくなりました」の繰り返しなので、複式学級の解消と言っても、人が外から入ってくる地区でもないで具体的な何かが出てこない不安しかない。そこを明確にしない限り、かなり不安が生じると思う。長い時間をかけて、明確なものがないと厳しいと思った。これから入る子供や保護者は不安しか残らない。「統合する、なくなる」を繰り返してばかりだと、違う所にといい気持ちにもなってしまう。</p>
鈴木教育長	<p>事実として申し上げられるのは、見沼へ進学するのは4割減になってしまう。生まれている子供とか3地域の子供の数を考えると、10年後は小学校同士でもあっても1クラス20人程度の状況になり、非常に厳しいものがある。さらに中学校も南河原中も同じ様な状況なので、北部地域の再編成の課題は大きい。複式学級の良さも話してもらったが、今後の子供達が社会で生きていくためには、より大きな集団というのが学習の場として必要と思っているので、令和4年には複式学級を解消しながら、より良い環境を作っていけるように進めたい。</p>
吉田部長	<p>令和4年4月の複式学級の解消について、具体的なものがなく、不安</p>

	<p>だと思うので、現時点の考え方だけ説明する。これまで義務教育学校として進めるという気持ちでいたと思うが、唐突に白紙になってしまい、さらに不安になっていると思う。今までは4校の義務教育学校がメインで進んできたが、これからは複式学級の解消という事で、それぞれの学校で複式学級の解消をどうやっていくかが問題になる。北河原小を残して解消する事は現実的には無理だと思う。北河原小はなくなって、他の学校へ行くか他の学校と統合するという選択肢になると思う。説明会では言いづらい事もあるだろうから、今後、意向調査などをお願いして、北河原小の保護者が何を求めているかを把握していく。北河原小としてまとまっていれば方向が作りやすいが、色々な意見が出ると、話し合いなどを設けて、できれば今年度中に方向性を示せれば、令和3年度には準備を進められる。これが今年度に方向性が決まらなるとその後のスケジュールは難しくなってくる。年明けくらいには考えをまとめたい。そうすれば令和4年4月の解消は実現できると思うので、協力をお願いする。</p>
出席者	<p>複式学級の解消は、北河原小で1クラスずつ担任を付けて進める解消の仕方ではなく、編入する方法で解消するのか。</p>
吉田部長	<p>ここで先生を増やして解消するのではなく、より多くの児童と一緒に学習をさせるという解消の方法になる。そのため、統合や編入という選択肢になる。</p>
出席者	<p>統合と編入の差は何か。統合はあり得るか。</p>
吉田部長	<p>統合は対象校が全て廃校になり、改めて新校を作るというイメージ。並行して進めている星宮小と中央小は、両方が廃校し、令和4年4月に新たな学校として生まれ変わる。義務教育学校も統合であった。編入は、例えば北河原小の皆さんが南河原小に行き、南河原小の名前のまま通う形である。統合の場合、校名が変わるので募集をしたりするなど考えないといけないので、スケジュール的には厳しい。いきなり一緒になるより、少しずつ慣れるためにも交流事業をやらないといけない。新たなものになるとスケジュール的には厳しい。義務教育学校を進める中で、荒木、須加、北河原の3校は交流事業を進めていて、3校の統合となれば、令和4年度は十分可能性はあると思う。今決まっている校名を候補の一つに入れる事も可能だと思う。それも選択肢の一つという事で、保護者が一番求めている事を聞きながら進めていく。</p>

出席者	<p>編入を取らざるを得ない事になった場合、デメリットは。例えば学校まで親が送っていかないといけないのか、通学路も市の方で何かしてくれるというのがなくなってしまうのか。</p>
吉田部長	<p>通学区は住んでいる地域である程度決まっているので、基本的にはその学校に行ってもらうのが本来である。今後の話し合いの中で、例えば北河原小が廃校になる中で、通学区以外にどうしても行きたいとなった場合は検討していかなければならないと思う。やはり一番は通学の問題である。スクールバスはいくつもの学校には出せないが、もともと北河原から見沼中に出すことになっていたもので、どこか1か所であれば可能であると思う。通学校区では北河原小は見沼中に行く事になっているが、南河原中を例外的に認めているという部分もある。今後、保護者との話し合いの中で要望等を聞きながら検討していきたい。</p>
出席者	<p>この地域は、南河原小の事と今回の事で2回残念な結果になっている。中央小と星宮小が忍小として決まりそうなので、成功例として考えていると思うが、教育委員会から見て、成功例との違いはあったか。</p>
吉田部長	<p>同時にやっている中で決定的に違うのが、義務教育学校は中学校と一緒にする部分を保護者が心配していた。賛成の方でも特に低学年の保護者からは中学生と一緒にでは心配という意見もあった。小学校同士での統合であれば、北部地域もすんなりいったかもしれない。色々な意見はあるが、保護者にも地域にも星宮小の複式学級を解消しなければいけないと理解してもらえた。中央小についても、将来的な部分を考えて、保護者にも地域にも賛成してもらえた。</p>
司会	<p>5 閉会</p>